

1. 授業の概要(ねらい)

この演習は、日本文化(アニメーション)を主テーマにゼミナール形式で行います。授業は、受講者の発表を中心とし、発表者と他の受講者との質疑応答、受講者全員での討議などで進めていきます。受講者は、関心のあるテーマを選び、先行研究を読み、発表を行い、レポートを作成することによって、研究方法を身につけ、文章の作成能力を高めます。取り扱う主テーマはアニメーションですが、学生の興味に応じて、周辺テーマへの変更や調整は可能です。

テーマの例として、アニメの歴史、マンガの歴史、映画監督論、作品論、プロデューサー論などが考えられます。

2. 授業の到達目標

自分自身でテーマを選び準備・発表し、その内容に対して討議することによって、自身の考え方を鍛える。自分自身の持つテーマについて、深く理解し、解説できる。

3. 成績評価の方法および基準

- ①中間報告(レポートと発表内容)(40%)
 - ②最終報告(レポートと発表内容)(40%)
 - ③平常点(授業への積極的な参加)(20%)の総合評価。
- ※出席率3分の2以上を単位取得の条件とします。(公欠を除く)

4. 教科書・参考文献

教科書

特に指定しません。プリントを適宜配布。

5. 準備学修の内容

- ①発表の事前準備(テーマの選定、文献の整理)。
- ②発表三日前までに、レジュメを事前提出。
- ③他の学生の発表に対しての積極的発言の用意。

6. その他履修上の注意事項

できるだけ多くのアニメーション、映画・映像芸術に触れて興味を持ち、研究テーマを常に考えましょう。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス
- 【第2回】 研究方法・資料の探し方・論文作法・発表割り当て。
- 【第3回】 各人の発表・質疑応答。
- 【第4回】 各人の発表・質疑応答。
- 【第5回】 各人の発表・質疑応答。
- 【第6回】 各人の発表・質疑応答。
- 【第7回】 各人の発表・質疑応答。
- 【第8回】 中間レポート提出、まとめ。
- 【第9回】 研究方法・発表方法(オンライン)
- 【第10回】 各人の発表・質疑応答。
- 【第11回】 各人の発表・質疑応答。
- 【第12回】 各人の発表・質疑応答。
- 【第13回】 各人の発表・質疑応答。
- 【第14回】 各人の発表・質疑応答。
- 【第15回】 最終レポート提出、まとめ。